

■先月のネイチャーウォーク

## 洒落度

～川沿いを歩き水子貝塚へ～

(東武東上線 柳瀬川駅 ～ 東武東上線 みずほ台駅)



今回は35名の参加者が集まりました。

つい何日か前まで 30℃を越す真夏のような天気が続いていましたが、この日は朝から今にも雨が降り出しそうな空模様。新顔スタッフを含め、35名の参加者が集まりました。

今回は、柳瀬川駅から柳瀬川、新河岸川の川沿いを歩くとともに、難波田城や水子貝塚を巡る歴史情緒あふれる約9kmのコースです。

さて、雨が降らないのを祈りつつ、早速出発！

柳瀬川沿いでは、カワセミやカルガモ、そしてマガモのようなアヒルのアオクビアヒルの出現に足を止めながらも着実に歩みを進めます。

途中、ザクロの木を発見！ 鮮やかな赤い色が印象的でした。花の脇にある丸い塊を見て、「実？蕾？」とみんなでじっくり観察したところ、実ではなく蕾であることがわかりました。

実がなるのはまだ少し先のようです。



白い丸の中がザクロの蕾です。



昔の葉屋さんの建物。旧村山快哉堂

旧村山快哉堂裏の広場で、ふうっとベンチに腰を降ろすと…、小さなカッパがいました。

志木市はカッパ伝説が数多く残るまちのひとつだそうです。

旧村山快哉堂裏の広場だけでなく、新河岸川沿いでも愛嬌のあるカッパの姿を見つけることができました。カッパを見つけるたびにみんな

の歓声が挙がっていましたね。



鮮やかなピンクのネムノキの花

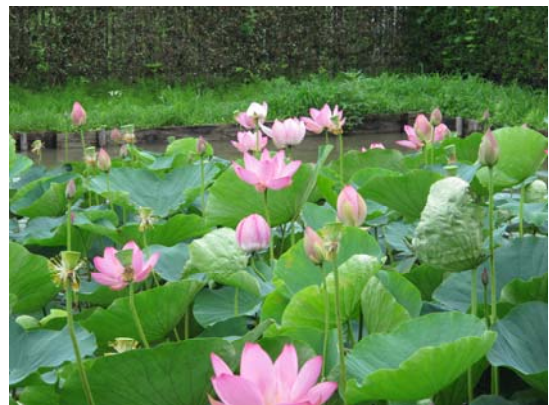
お昼に寄った難波田城公園は、復元された城跡や古民家など見所一杯。中でも大きな古代蓮にはみんな興味津々。声を掛け合い、みんなで揃って見に行きました。みんな、見事に咲いた花の美しさと葉の大きさに圧倒されていたようです。

柳瀬川と新河岸川のちょうど合流点、志木市役所を越えた先にある旧村山快哉堂で本日最初の休憩です。



小さなカッパが隠れていました。

新河岸川沿いを離れ、難波田城公園に向かう田園地帯では、見事な花を咲かせたネムノキを見つけました。「こんなきれいなピンクの花を咲かせるんだ!」「きれいだあ」とみんなから様々な感動の声があがりました。



古代蓮が見事な花を咲かせていました。





今回は3名の方に認定証が授与されました。おめでとうございます。



この他、今回を区切りに、長年ネイチャーウォークのスタッフとして活躍してきたAさんとOさんが、スタッフを卒業することを報告しました。

また、いつでも来て下さいね！！



難波田城公園を後にして、目指すは、水子貝塚公園です！

ここでみんなの注目を集めたのは、縄文時代の関東圏がどこまで海だったのかを示した大きな地図。「私の住んでいる場所は昔どうなっていたんだろう？」「私の仕事場は？」と、今と昔の違いについてみんな一緒に調べていました。



みんなで縄文の地図を調べます。

今回は、心配していた雨にあたることなく無事に終了することができました。これもみんなの日頃の行いのおかげであると思います。お疲れ様でした。